

青梅街道周辺（神田川付近～石神井川付近）

地質の状況

善福寺川沿いの低地部には、軟らかい沖積層(A層)の粘性土や腐植土が存在し、その下には武蔵野礫層(Mg層)が分布しています。善福寺池の底にも沖積層(A層)が存在しています。

台地の表層部には関東ローム層(Lm層)やローム質粘土層(Lc層)が存在し、その下に武蔵野礫層(Mg層)が分布しています。武蔵野礫層(Mg層)は、直径0.5～3cmの礫を主体として中程度～粗い砂を含んだ締まった礫層で、透水性が良く水を通しやすい地層です。

武蔵野礫層(Mg層)の下には、舎人層の非常に締まった砂礫(Tonc層)、粘性土(Tonc層)が重なるように交互に分布しています。舎人層の砂礫(Tonc層)、砂(Tons層)は透水性が良く水を通しやすい地層ですが、粘性土(Tonc層)は透水性が非常に低くほとんど水を通さない地層です。

地質縦断図



記号凡例

- 浅層用ボーリング地点
- 深層用ボーリング地点
- - - 市区境界

本図の地形は国土地理院発行の「数値地図5mメッシュ(標高)『東京都区部』」を使用しています。

地質縦断図は、計画路線に沿った断面を示しています。地質縦断図は、縦：横 = 10 : 1の割合で表現しています。

地質縦断図凡例

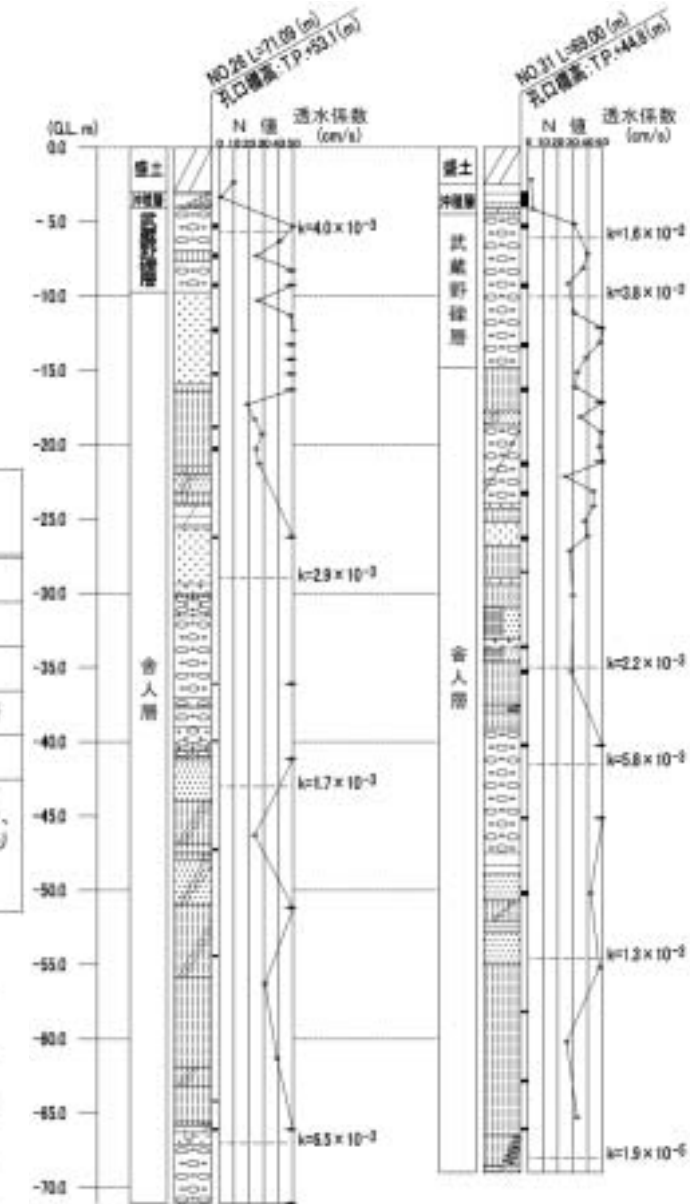
地質時代	地層	記号	層相
更新世	盛土、埋土	B	礫混じり土主体
	沖積層	A	軟質な粘性土、腐植土
第四紀	関東ローム層	Lm	火山灰質粘性土
	ローム質粘土層	Lc	粘土化した関東ローム層
	武蔵野礫層	Mg	砂礫
	舎人層	Tonc	粘性土
上総層群		Tons	締まった砂礫、砂、硬い粘性土が繰り返す地層
		Tong	砂礫

柱状図凡例

記号	土質名	記号	土質名
■	埋土	■	シルト質細砂
■	有機質	■	シルト混り細砂
■	シルト	■	粘土混り細砂
■	砂混りシルト	■	火山灰質細砂
■	礫混りシルト	■	礫混り細砂
■	固結シルト	■	砂
■	砂質固結シルト	■	中砂
■	砂混り固結シルト	■	シルト質中砂
■	火山灰質固結シルト	■	シルト混り中砂
■	固結シルトと細砂の互層	■	中砂と粗砂の互層
■	火山灰	■	礫混り中砂
■	ローム	■	シルト質細砂
■	粘土	■	火山灰混り粗砂
■	有機質粘土	■	粗砂
■	シルト質粘土	■	礫混り粗砂
■	砂混り粘土	■	砂礫
■	砂混り凝灰質粘土	■	シルト質砂礫
■	火山灰質粘土	■	粘土混り砂礫
■	礫混り粘土	■	粘土質砂礫
■	細砂	■	軽石

代表的な柱状図

[武蔵野市] [杉並区]
市有地(神田川沿い) 都立善福寺公園(下池)
(NO. 26) (NO. 31)



N値と地盤の状態について

N値	0	2	4	8	10	15	30	50
砂質地盤の締まり具合	非常に緩い	緩い	中位の	非常に密な				
粘性土地盤の固さ	非常に軟らかい	軟らかい	中位の	硬い	非常に硬い	固結した		

出典：「地盤調査法」平成7年 地盤工学会

透水性係数と地盤の透水性について

透水性係数 k (cm/s)	10 ⁻⁹	10 ⁻⁸	10 ⁻⁷	10 ⁻⁶	10 ⁻⁵	10 ⁻⁴	10 ⁻³	10 ⁻²	10 ⁻¹	10 ⁰
地盤の透水性	実質上不透水	非常に低い	低い	中位の	高い					

出典：「土質試験の方法と解説」平成12年 地盤工学会